

第2回敷島地区地域審議会会議録

1.日時

平成24年10月17日(水)

10:00～12:00

2.場所

甲斐市役所 敷島庁舎 会議室1

3.会議次第

- 1、開会
- 2、委員の改選、委嘱状交付
- 3、会長あいさつ
- 4、企画政策部長あいさつ
- 5、報告事項
 - ① 甲斐市地域防災計画改定事業について
 - ② 自治基本条例について
- 6、行政視察：島上条公園について
- 7、その他
- 8、閉会

4.出席者

(ア) 出席委員〔6名／7名〕

(イ) 欠席委員〔1名／7名〕 石川委員

(ウ) 事務局

土屋企画政策部長、有泉秘書政策課長、中込敷島支所長、保延消防防災対策室長
消防防災係 望月係長 都市計画課 整備係末木係長
秘書政策課総合政策係：石合係長、石原主査、小澤主査

5.報告事項における主な質疑

①甲斐市地域防災計画改定事業について

・防災計画は甲斐市が独自に積み上げて、県の計画とすり合わせしていくべきだと思うが。
⇒現在、既に作成している甲斐市地域防災計画を、東日本大震災を受けて、内容が薄い点などを充足して、県の防災計画とすり合わせをしたうえで、防災会議に諮りながら作成していく。

・島上条公園へのヘリコプターの離着陸について

⇒11月1日から正式に国の許可見込み。

・過去の災害状況を踏まえてハザードマップを作成したほうが良い。

⇒今は、その予定はないが、文書表現が出来るか等、今後検討したい。

・島上条公園ができたことによる指定避難場所の見直しと、甲斐市のハザードマップへ荒川ダムの氾濫を想定するのか。

⇒島上条公園は屋外施設のため、指定避難場所にしない。また、ハザードマップは、土砂災害のマップのため、荒川ダムの氾濫は想定しない。

・島上条公園は、災害時にはどういう施設として利用するか。

⇒ボランティアセンターの候補地、仮設住宅の候補地、医療の救護所等の活用が考えられるが、今後、防災会議で検討していきたい。

・地域防災計画に、敷島地区においては、過去の水害や土砂崩れの事例があることから、例えば、土砂崩れを防ぐための工事の記載をすることはできるか。

⇒現在、地域防災計画にハード面の記載はありませんが、県道や土砂災害は県の対応となるので、県へ要請するなど文書を付け加えていくのかを検討する。

・防災リーダーを養成してはどうか。

⇒今後、地域の防災委員や自治会長へ防災に係わる研修会を充実していく。

・防災訓練とは別に自治会の役員などを集めて研修会をしてはどうか。また防災訓練についても市民の声を吸い上げた形で実施してはどうか。

⇒現在の自治会の自主防災組織については、防災訓練時だけ行動する自治会が多い。今後、色々な研修会や予算的な面でバックアップをしていかなければならないと考えている。

・防災訓練は終わった時点で課題を把握する会議を実施したほうが良い。

・地域防災計画に女性の意見を取り入れて、進めて欲しい。

⇒防災委員を3名から2名増やし、女性からの意見を聞いていく。また、避難所マニュアルを作成する際においても積極的に意見を聞いていきたいと考えている。

② 自治基本条例について

・市長の責務が必要か、また、男女共同参画の記載について

⇒市長の責務などを記載することにより、市政に携わる内部の意識改革に繋げていきたいと考えている。なお、男女共同参加の記載については、今後プロジェクトの会議のなかで協議していきたい。

③ 島上条公園について

・災害時にヘリポートとして利用した場合の芝生部分へのテントの設置について

⇒ヘリポートとなった場合は、テニスコートなどにテントを設置していく

・島上条公園の水を滅菌できる装置はいつ購入するか。

⇒後日回答する。(別紙)

・島上条公園の年間の維持管理費は。

⇒後日回答する。(別紙)

その他

・敷島北小学校の西側の工事の進捗状況及び歩道橋へ設置の要望について

⇒後日回答する。(別紙)

・敷島地区の通学路の危険箇所について

⇒後日回答する。(別紙)